

学校だより



くろくふう

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和4年5月6日(金) 第2号

失敗から学ぶ力

校長 二瓶 亮

若葉の緑が濃くなり、春から夏に向けて季節の移り変わりを感じます。

4月8日から始まった新年度の学校生活も1カ月が過ぎ、各教室での授業では、時に活発な意見交換があり、時に集中して課題に取り組む姿ありと程よい緊張感の中で授業が行われています。部活動でも先月19日に部活動発足会があり、1年生が入部した新しい体制での活動が始まりました。学校生活の様々な場面で、吹上中学校の目指す生徒像「多様性を認め合い、自らの可能性に挑戦する生徒」の姿が見られます。



本校の先生方には、教室や部活動でそれぞれの良さを互いに認め合い、失敗の許される雰囲気のあるものにしてほしいとお願いしています。中学校には様々な意見や考え方を持った生徒が通ってきています。1つの課題、1つの行事に取り組むときにもそれぞれの向き合い方があります。活動していく中で当然、衝突が起きます。また、何かに挑戦していく中では自分の思い通りの結果が得られないことも起きます。学校ではそういう状況の中で「折り合いを付ける力」「失敗から学ぶ(立ち直る)力」が付くよう、生徒が主役となる授業や行事、部活動において仲間と一緒に考え、悩み、成長して行けるように教育活動を展開しています。特に「失敗から学ぶ(立ち直る)力」は小中学校時代に経験し、鍛えておくべきだと考えて、失敗＝恥ずかしいことではなく、失敗＝挑戦した証拠としてとらえ、子供たちが挑戦する姿勢を応援していくことが、大人の役目と考えています。

本校の教職員は温かく、熱心で生徒を第一に考えて、日々の教育活動に取り組んでいます。保護者や地域の方々もPTA活動や学校応援団の活動を通して本校の教育活動を支えてくれています。このような恵まれた環境の中で、いろいろな挑戦をして、たとえ失敗しても「こういうときにはこうすればいいんだ」と学んだり「失敗しても次にがんばる 過去は変えられないんだから」と前向きに考えたり。そうした経験を通して、自らの人生を創っていく。中学校をそんな経験を積む場としてほしいと願います。今後も、子供が自分自身で立ち上がる姿を信じて見守る、陰で支える協力体制を家庭・地域と学校で作っていくことをお願いします。

書家の相田みつをさんの作品に「人間だもの」というものがあります。私はこの作品に何度も救われました。

「つまづいたり ころんだりするほうが

自然なんだな 人間だもの」

失敗から学ぶ、そんな吹中生の成長を期待しています。